



Vol.4 ハウス管理編

【2017.04.30】

天気の良い日は、かなり気温が高くなる日も増え汗ばむ陽気となってきました。職員による徹底的な温度と水の管理によりハウスに並べられた苗は順調に育っています。生産者の方へのお渡しまで大切に育てます。

4月下旬になり、天気の良い日になると気温が上がりハウス内はサウナのような状態となり、作業中は流れる汗を拭きながら頑張っています。苗にとっても水不足に加え必要以上に気温が上がってしまうと「**苗焼け**」の原因となってしまうので、しっかりとした水と温度管理が必要となります。

日中、ハウス内の温度が **20℃～25℃** に保たれるようにハウスを開閉し換気をして温度調節をします。30℃を超えると「苗焼け」の危険度が上がります。また、**5℃** 以下になると低温で苗の成長の妨げなり夜間の管理も必要です。

ハウス内の温度管理と同じく大切なのが水の管理です。水不足になると苗の葉が針のようになってしまいます。またやり過ぎると苗が徒長して倒伏の原因となります。基本的に1日2回朝昼に水やりをしています。その日の天候や気温の変化に合わせて育苗に適した調整をして生産者の方へのお渡しの日まで大切に育てます。



↑ハウス側面の窓を開けて換気します



← 生育中の苗の様子

→ ハウス内スプリンクラーで散水中

